



- ・ 2021年度土壌医検定のお知らせ
- ・ データ駆動型土づくり推進事業 2021年度がスタート！
- ・ 優良土づくり推進活動事例募集開始
- ・ 皆様の「声」をお聞かせください
～全国の土壌医の会の取り組みやご意見を募集しています～

2021年度土壌医検定試験のお知らせ（試験日：2022年2月13日第2日曜日）

2021年度の試験日程が決まり、各方面へのパンフレットやポスターの配布を行っています。

今年のポスターは、高知県立高知農業高等学校と両総土壌医の会にご協力いただき作成しました（リバーシブル）。来年度以降も、活発な活動をされている土壌医の会の皆様にご協力をお願いしたいと思います。右側の土壌医の会バージョンは、両総土壌医の会会長さんのネギ畑で、ドローンにより上空から撮影したものです。土壌医の鈴木さんがドローンを操縦しています。



土壌医
鈴木さん



フェイスブックの農業グループサイトでの反応です

試験申込み期間は11月1日（月）～12月14日（火）です。パンフレットをご希望の方は kouno@japan-soil.net までご連絡ください。

データ駆動型土づくり推進事業 2021 年度がスタートしました

2020 年度より 3 年計画でスタートしたデータ駆動型土づくり推進事業ですが、2021 年度は北海道、高知県、広島県など新たな道県の実施地区が加わり、新規と継続地区を合わせて 4000 圃場の調査を行う予定です。調査 2 年目の継続圃場では、改善に向けた詳細調査にも重点を置きます。

(*2020 年度調査実施県：青森、秋田、茨城、埼玉、千葉、長野、静岡、新潟、兵庫、香川、福岡、宮崎の 12 県)

千葉県佐倉市角来地区の大区画水田では、水稻の生育ムラに応じた土壌調査を実施し、施肥等の改善を行っていくこととしています。このためドローンにより上空からのマルチスペクトル撮影を行い、水稻の生育の状況把握を試みました。↓

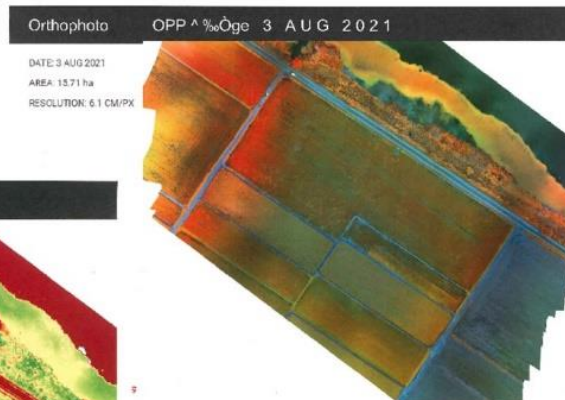
ドローン
操作画面



撮影データを処理すると、下図のように、植物の活性度が明確に識別できるようになります。稲刈り後に、この植物活性度の異なる地点それぞれについて、土壌の化学性と物理性の調査を行います。



← 複数のレンズにより、異なる波長域の画像を同時に撮影し、演算処理（バンド間演算）します。



↓
↓
↓
緑が濃いほど
植物活性が高い

土壤医の会会員の活躍が事業の推進力となっています！！

昨年度は土壤医の会の皆様の協力が大きな力となりました。今年度は、さらに土壤医の会会員である農業者の皆様のご協力が増えています。

埼玉県北足立郡伊奈町の「ないとう農園さん」での調査。貫入式土壌硬度計で土壌物理性を測定しているのは、有機栽培農園経営者で土壤医の内藤さんです（首都圏土壤医の会会長の高山氏と）。



～データ駆動型土づくり推進事業に参加してみたいと思っている皆様へ～

- ★ 調査圃場での貫入式土壌硬度計による土壌物理性測定に参加したい・・・
- ★★ 農家で資格登録者ですけど、自分の圃場は調査対象になりますか・・・
 - * 土壌調査に参加すると、CPD単位が取得できます(半日:5ポイント、全日:10ポイント)。
 - ** 貫入式土壌硬度計の使用法や、土壌分析結果(化学性・物理性)と圃場カルテに基づくデータ解析、診断コメントの作成を中心とした研修会が計画されています(今後の新型コロナウイルス感染状況により、計画が変更される場合もあります)。

【お問い合わせ先】 kouno@japan-soil.net、または、日本土壤協会(03)3292-7281

「優良良土づくり推進活動表彰」対象の事例募集が始まりました！！

【募集期間 2021年8月31日(火)～10月29日(金)】

- ・個人部門:土壌診断に基づく作物生育改善、土づくり普及活動
- ・土壤医の会部門:土壤医の会としての作物生育改善などの取り組み、
地域への土づくり普及に貢献する取り組み

★農林水産省農産局長賞

★土壤協会会長賞

★全国協議会会長賞

～日頃の努力の成果を発信する絶好の機会です！奮ってご応募ください！！～

*表彰式(土壤医の会全国協議会全国交流大会):2021年12月8日(水)午後、連合会館にて行われます。
【申請書送付先: cpd@soil-doctor.net】

全国の土壤医の会の皆様の活動やご意見を募集しています！

編集者の行動半径の狭さから、首都圏中心の話題になってしまっておりますが、各地の土壤医の会の取り組みや様々な声をできる限りご紹介していきたいと思っております。

kouno@japan-soil.net までご連絡よろしくお願い致します

